

科目名: バンクーバー発音の鬼が教える英語習得のコツ		科目コード	HH79
科目主査: リチャード 川口 担当講師: リチャード 川口		単位	2
		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>昨今、英語はますます仕事でかかせなくなり、日常生活にも必要なスキルになってきました。しかし、いざ「英語を習得する」と決心しても、言語習得というテーマが広大すぎて、どこから手をつけてよいのか、わからないのがちです。完全に無駄な学習はありませんが、効率の良し悪し、実践的かどうかという観点があります。</p> <p>当科目は、カナダで生まれ、日本と海外を半々で育った、発音教育の第一人者による、実践的な英語習得法の授業です。英語の「正体」を明らかにし、様々な具体的手法で、確かな成長の実感と、今後における迷いのない英語学習の道しるべを提供します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	参加型の授業になりますので、授業中も積極的に発言、質問するつもりで履修してください。		
テキスト	なし(資料はスクーリング当日に配付します)		
この科目の到達目標	<p>①「使える」実践的な英語を構成する要素がはっきりと理解できるようになります。</p> <p>② 通じる発音の技術、自分の思考をダイレクトに英語にする方法、小慣れた英語表現の爆発的な増やし方が習得できます。</p> <p>③ 今後どのような学習を重ねてもよいのか明確になります。</p>		
成績評価の方法	授業態度を重視し、授業時間中の集中度合いや、グループワークの参画度合いを評価対象とします。また、休み時間後の遅刻については減点の対象とします。最終試験は、基礎知識を問う問題と、学んだ内容から独自の意見を述べる論述問題とで出題します。		
事後学習	スクーリングで得た「知識・気づき」を基に英語学習を続け、実際に使うチャンスがあるときは、間違いを恐れず、率先して使いましょう。効率の良い学習と実際に使うということのバランスを意識して、「イケてる」英語を磨いていきましょう。		
事後学習の参考文献	『バンクーバー 発音の鬼が日本人のためにまとめた ネイティブ発音のコツ33』リチャード 川口, 明日香出版社, 2012年 『バンクーバー発! 英語の鬼が教える 本気でイケてる英語表現33』リチャード 川口, KADOKAWA, 2019年		
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具		